

海老名市立門沢橋小学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年度 第2回)

- 1 日時 令和3年11月25日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立門沢橋小学校 校長室
- 3 出席委員 牛村忠雄委員長、大島千佳委員、西海茂委員、佐野健二委員
武井友勝委員、大河原俊一委員、長谷堯委員
後藤純子委員、潮田佑介委員

4 会議の内容

(1) 挨拶

牛村会長：コロナもだいぶ下火になってきた。ご出席ありがとうございます。この中で学校も大変だったのではないだろうか。学校運営も細心の注意を払ってきたのではないか。今日は報告と議事について、よろしく願いいたします。

後藤校長：今は少し安心して職員も子どもも学校生活を送っている。学校では安全に気を付けながら過ごし、運動会も無事に行うことができた。稲刈りも全児童が参加することができた。

(2) 報告

○通学路の一部変更について

後藤校長：資料を添付した。第1回でこのあたりの交通量についてお話をした。中野地区にお住いの家庭にアンケートをとって、通学路の変更を急遽行った。迂回するルートとなるが、通学路として設定したので、見守り等お願いしたい。

佐野委員：通学路変更は29件が対象となる。春先に事故があったり、交通量が多かったりすることから、地図(別紙)の通り変更した。

後藤校長：通学路変更に伴い、子ども100番も新規に38件増えた。(該当地区である中野地区は17件増えた)

○開校50周年記念事業について

後藤校長：令和4年11月第2土曜日で記念式典を予定している。実行委員会も歴代会長を中心に進めている。式典、航空写真等の準備を考えたり、すべり台の今後について検討をしたりしながら進めている。

牛村会長：規模はどの程度のものを予定しているのか。

後藤校長：6年生、地域の関係者が参加できればと思っている。実行委員会の行事部が中心となって考えている。

(3) 議事

○全国学力学習状況調査結果

後藤校長：この調査結果のまとめについては来月報告する予定。(別紙にて)説明します。門沢橋小学校の特徴について、まず、国語においては、文章を読解し考えることに時間がかかるというところがある。また自分の意見を書くということころにも苦手意識がある。算数は、資料やグラフから数値を読み取ることはよくできている。算数においても文章から読み取るというところには課題も見られた。質問紙では、前向きな考えが見られた。特にICTにかかわるところはよい傾向が見られた。生活習慣に関するところもおおむね良い傾向が見られた。家庭に協力してもらいたいところも冊子の中にまとめた。

大河原委員：どういった調査なのか。

後藤校長：マークシート形式。

大島委員：結果としてコロナ禍の中で子どもたちが変わった様子が見られたか。

後藤校長：昨年度は国の調査として実施はしていないが、全体として前向きな結果が出たと捉えている。

長谷委員：iPadは制限等かけられているのか。

後藤校長：市がフィルタリングの制限をかけている。双方向のやりとりも行っている。

長谷委員：ニュースでは端末によるいじめもあるが。

後藤校長：学校は厳しくチェックを行っている。翌日担任がチェックしている。

西海委員：使い慣れている家庭と使い慣れていない家庭がありますか？

後藤校長：家庭による差異はあるが、学校ではキーボードの使い方も含めて丁寧に行っている。

佐野委員：3年生に子どもがいるが、iPadを持って帰って来たときは興味津々に取り組んでいる。

牛村会長：神奈川県は今回の調査で全国の中でどのくらいの位置にいるのか。上位の県は宿題等も非常に多いと聞く。

後藤校長：確かに学力と家庭での過ごし方はクロス集計からも関係性はあると思われる。家庭学習は学年×10分とされているが。

大島委員：小学生のうちから家で勉強する習慣があるとよいのだが。

大河原委員：中学校の時に読書は必要かということで話し合ったこともあった。グラフからも全く読書をしないという回答をしている子どもがいるのは気になる。

大島委員：今は新聞をとっていない家庭もある。読書というのはハードルが高いのかもしれない。興味がある新聞の記事を配ってみる等もやり方としてできるのではないか。

○一人一台学習用端末の活用について【授業参観：3年、6年】

(4) その他

コミュニティ・スクール連絡会の出席者について

後藤校長：(別紙にて説明)

牛村会長：どなたもいないようでしたら、私が参加いたします。

次回の学校運営協議会は、令和4年2月25日(金)10:00から開催予定。

(5) 挨拶